

症状緩和（吐き気）に対する薬剤の適応外使用について

使用内容	悪心・嘔吐を保険適用にもつ薬剤（通常の吐き気止め）で対応が困難な難治性悪心・嘔吐に対して症状緩和目的に当該薬剤以外の薬剤を使用		
対象患者	当院で治療を受ける患者で、通常の吐き気止めで対応が困難な患者		
実施期間	永続的に使用		
目的・概要	通常の吐き気止めやケア等で対応が困難な難治性悪心・嘔吐に対する症状緩和を目的とした薬剤の使用が緩和ケア領域の各種ガイドライン等で示されています。これらの薬剤は悪心・嘔吐を保険適用にもたないか、使用条件が限定されている場合があります、適応外使用となりますが、使用することで悪心・嘔吐の軽減が期待できます。また、注射剤に関しては、添付文書に記載されている投与経路では苦痛を伴う場合に、投与経路を変更することで投与時の苦痛軽減が期待できます。		
使用場所	病棟・外来		
使用条件	通常の吐き気止めやケア等で対応が困難な時		
想定される不利益と対策	各薬剤の添付文書に記載されています。 また、当該薬剤の継続が適切でないと判断した場合には休止・または中止します。		
当院で使用する理由	がんの経過においては高度な苦痛緩和を必要とする場面が多く、上記薬剤を考慮する必要があるためです。		
使用に関する同意について	当院では対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行い同意をいただく代わりに、ホームページに情報を公開することにより実施します。本件に同意をいただけない場合やお問い合わせなどありましたら、担当医師にお申し出ください。		
使用薬剤一覧			
分類	薬剤名	投与方法	代表的な副作用
抗精神病薬	オランザピン	経口	傾眠、不眠、不安、頭痛、めま

	リスペリドン	経口	い、手足の震え、口渇、倦怠感 など
	ペロスピロン	経口	
	クロルプロマジン	経口,注射	
	プロクロルペラジン	経口,注射	
	レボメプロマジン	経口,注射	
	ハロペリドール	経口,注射	
	ミルタザピン	経口	
抗不安薬	アルプラゾラム	経口	眠気、めまい、ふらつき など
	ロラゼパム	経口	
コルチコステロ イド	デキサメタゾン	経口,注射	胃痛、不眠、むくみ、満月様顔 貌、疲労感、感染症 など
	ベタメタゾン	経口,注射	
抗ヒスタミン薬	ジフェンヒドラミン/ジ プロフィリン	経口	眠気、めまい、倦怠感、口渇、 頭痛、発疹 など
	ヒドロキシジン	経口,注射	
	クロルフェニラミンマレ イン酸	経口,注射	
セロトニン 5HT3 受容体拮抗薬	グラニセトロン	経口,注射	頭痛、便秘 など
抗コリン薬	ブチルスコポラミン	経口,注射	口渇、便秘、眼の調節障害 (見えにくい) など

栃木県立がんセンター 病院長